

研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「クラスがたのしくなるかかりをきめよう」 (1)イ 学級内の組織づくりや役割の自覚

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社会を作ろうとする力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力を育てる。

2. 第1学年及び第2学年における評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合っ実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、元気よく挨拶を返したり、気になることや思ったことを人に伝えたり、積極的に人と関わろうとする姿が見られる。また、学級の当番活動等にも意欲的で、初めてのことに物おせせず積極的に活動できる。1学期は相手の気持ちを考えることができず、自分の思いや考えだけで行動しトラブルになることが多くあった。しかし2学期からの当番活動を行うなかで、自分の仕事に責任をもって取り組む力や、友達と声を掛け合い助け合いながら取り組む力が少しずつ育まれ、児童同士のトラブルも少なくなってきた。一方で、決められた仕事や当番はきちんと取り組むが、自分の当番以外は目を向けず、学級をよりよくしようと進んで行動する姿は少ない。中には、集団の一人としての意識が低く、人任せにしている児童もいる。

学級活動については、1学期は「みんなできるとかをするのは楽しい」という経験をさせるために話し合い活動を行ってきた。「みんなが仲良く、楽しくなるためにやってみよう」と出し合い、学級会は話し合っ決まったことをみんなでできる時間という経験を積み重ねるために、一時間の中で話し合い、実践、振り返りを繰り返し行っ。始めは教師がモデルとなり話し合いを進めてきたが、児童たちに司会と副司会を任せ話し合いを行ってきた。自分の考えをもつこと、それを発表することなどに抵抗を感じている児童も多かったが、少しずつ「話し合い」の流れを理解し、ほとんどの児童が話し合いに参加でき始めた。話を聞くことは、会を重ねるごとに少しずつできてきている。しかし、友達の意見を聞き、その意見に対して質問したり、不安なことを伝えたりする力はまだ弱い。さらに、自分の意見を伝えることに恥ずかしさを感じたり、理由を付けて話すことを難しく感じて言えなかったりする児童や、友達の意見を受け入れられず話し合いから外れようとする児童もいるという現状がある。

2学期はこれまで「〇〇さんよろしくねのかいをしよう」で転入生と仲良くなるレクを考え実行したり、「かかりかつどうをしよう」で初めての係活動に取り組んだりしてきた。話し合いを行う際、自分の気持ちだけを発言するのではなく、「〇〇さんと仲良くなるために」や「クラスのみんなのために」などと相手を意識した発言も見られ始めた。クラスの一員としての意識をもち過ごせるようになってき始めた10月中旬には「かかりかつどうをしよう」で初めての係活動に取り組んだ。他学年の係活動の様子を紹介し、自分たちがクラスをよくするためにやってみよう係りを決め実践してきた。しかし、自分がやりたいことが中心になってしまい、他の児童と協力して取り組むことや、クラスをよくするために活動するという意識は薄いように感じている。

(2) 議題選定の理由

前回、「係活動にチャレンジしよう」ということで話し合い、初めての係活動に取り組んだが、どうするとクラスが楽しくなるのかを十分に考え活動することができていなかった。そこで、本議題は計画委員会において、「1学期のレクのように、クラスを楽しくしたい」という考えのもと、選定されたものである。前回の係活動についての振り返りで、「友達と協力して係活動ができた。」「友達と係をするのは楽しかった。」などの振り返りが見られた一方、「係活動ができなかった。」や「何をしたらいいのかわからなかった。」などの振り返りも見られた。今回の話し合いでは、これまでに実施してきた話し合いと同様にクラスが楽しくなるように考える中で、係活動に対する自分の考えをもち、発表したり友達に伝えたりすることができるようにしたい。また実施後に「前よりもクラスが楽しくなった」「次は〇〇な係をやってみよう」と児童が意欲をもって取り組める活動にしたい。

